

議会ガイド



東北新幹線開業1周年記念

第2回 新春初笑市

～1月3日開催 津軽中里駅にて～

第4回定例会 (平成23年11・12月)

目次	■ 第4回定例会	……………	P 2
	■ 一般質問	……………	P 4
	■ 委員会の動き	……………	P 10
	■ 議会の動き	……………	P 10



公立金木病院組合がつがる西北五広域連合に移管へ

赤字解消のため第三セクター等改革推進債を発行

町が六億二千八百万円を負担へ

第4回定例会

11月28日～
12月6日

平成二十三年第四回定例会が、十一月二十八日から十二月六日までの日程で開かれました。開会日には、給与改定に伴う条例及び補正予算を先議。十二月五日には、一般質問が行われ、長利議員、塚本議員、川山議員、山田議員、青山議員、荒閑議員の六名が、町側の答弁を求めました。最終日の六日には、質疑、討論、採決が行われ、一般会計補正予算や条例制定など議案十九件が、いずれも全会一致で可決、承認、同意されました。

補正予算

■一般会計補正予算第十一号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- 総務費
本庁第二駐車場購入事業 二千七百十一万円
電算事業システム導入事業 減額三千八百四十四万円
- 民生費
私立保育所入所事業 二千三十二万円
- 衛生費
子ども手当支給事業 減額二千六十一万円
- 農林水産業費
公立金木病院組合負担金 六億二千八百万円
- 農林水産業費
県営薄市地区ふるさと農道緊急整備事業 二百四十万円
- 土木費
町道新設改良事業 一千二百九十四万円
- 消防費
消防団屯所用地購入事業 三百八十万円

■国民健康保険特別会計補正予算第四号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- 保険給付費
出産育児一時金 二百九十四万円

■介護保険事業特別会計補正予算第四号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- 総務費
システム改修事業 四百二十一万円

- 保険給付費
高額医療合算介護サービス費等 四百四十七万円

第三セクター等改革推進債とは？

町が加入する一部事務組合などが廃止される際に発行が認められる借金。

発行団体において議会の議決が必要で、更に総務大臣又は都道府県知事の許可を受けなければならない。



4月よりつがる西北五広域連合へ移管される公立金木病院



取得予定の役場第2駐車場

報告

条例

その他

許可の申請

平成二十四年四月一日より構成団体を追加するもの。

陳情

■一般会計補正予算
第九号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□衛生費

リサイクルゴミストックヤード移設事業

三十万円

□教育費

陶芸教室等改築事業

百九十六万円

■中泊町暴力団排除条例

暴力団排除を推進し、町民生活の安全と平穩の確保及び町経済の健全な発展に寄与するため制定するもの。

■公立金木病院組合の解散

平成二十四年三月三十一日をもって公立金木病院組合を解散するもの。

■津軽鉄道に対する固定資産税の課税免除に関する条例

課税免除の適用期間を三年間延長するもの。

■公立金木病院組合の解散に伴う財産処分

解散時に組合が所有する土地の持分五分の二を中泊町に、五分の三を五所川原市へ、また、土地以外の財産をつがる西北五広域連合へ無償で帰属させるもの。

■町道の路線の廃止

県営若宮地区農地整備事業(通作条件整備)実施のため、町道の二路線を廃止するもの。

■町道の路線認定

県営若宮地区農地整備事業(通作条件整備)実施のため廃止した路線のうち、事業に該当しない部分を新たに町道の路線として認定するもの。

■中泊町職員の給与に関する条例の一部改正

県に準じて、職員給料月額を改定するもの。

■一般会計補正予算
第十号

■国民健康保険特別会計補正予算第三号

■介護保険事業特別会計補正予算第三号

■特別養護老人ホーム
静和園事業特別会計
補正予算第三号

月例給の給与改定に伴う職員人件費の調整。

■新たな高齢者医療に関する意見書

関係行政庁に対し、新たな高齢者医療制度に関する意見書を提出するもの。

■国保国庫負担率の大幅引き上げ等の意見書提出を求める陳情

国に対し、国民健康保険への国庫負担率の大幅な引き上げを求めるもの。

■介護保障制度に関する意見書提出を求める陳情

国に対し、介護保険に関する国庫負担の増額及び介護給付の制限を行わないこと等を求めるもの。

■高齢者医療制度等に関する意見書提出を求める陳情

国に対し、後期高齢者医療制度廃止と新高齢者医療制度撤回を求めるもの。

三件の陳情については民生文教常任委員会へ付託して審議することに決定。

■第三セクター等改革推進債の起債に係る

東津軽郡外ヶ浜町において、当町区域内に存在する当該路線を路線認定したいとの申し出があり、承諾するもの。

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

一般質問



長利 司 議

防災行政無線の適正利用を

Q 一般団体、また一般町民からの放送依頼があつた場合の判断基準は。また、放送内容をもつと簡潔に、要点をしっかりと放送すべきでは。

A 秋元総務課長 各種団体等については、町が後援するものについて放送している。短目内容等だけ放送するよう指示し、これからも職員及

び関係機関等へ周知し、徹底させていきたい。

Q 8月の火災で消防署から放送が聞き取りにくいとのことであった。放送体制及び統制ができて

いるのか。

A 秋元総務課長 署長から内容を聞く

には、新人の消防士に放送



中里消防署

させたところ、その操作が不慣れであり、放送ミスを起こしたとのことであった。特に消防署は常に緊張した状況で仕事をする場なので、管理者を通して適切な運用をお願いする。

一層の地域防災への取り組みを求める

Q 震災や原発事故をも想定した総合的なハザードマップを今見直してつくるべきではないか。

A 小野町長 国、県の上位計画を

参考として本町の地震、津波災害のハザードマップを策定し、原発についても県の動向を見ながら、今後検討したい。

一般質問は
インターネット・ライブ中継が
ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにもテレビ中継されています。ぜひご利用ください。



HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

一般質問



塚本悦子議員

ポリオ不活化ワクチンの導入と 公費の助成を求める

Q 県内でもポリオ不活化ワクチンを導入しているが、当町の希望者に対して導入の予定はあるのか。

十八・六％、今後中里地域で二回、小泊地域で一回ある。
最終的には通年であれば九十％近くだが、今年は、接種率が落ちている。

学校における消費者教育の充実を

Q 小さいころからの自立した消費者としての態度形成や能力育成は多方面で指摘され、中でも学校教育の期待は非常に大きい。町内小中学校でどれくらい進んでいるか、その現状と今後の方針は。

A 加藤教育長
義務教育段階からの消費者としての意識の高揚を図っていく必要がある、小中学校ではカリキュラムの範囲内できちっと教えている。

小中学校でやること以外に、家庭での指導も非常に重要な位置を占めていることから、保護者に対する消費者学習も取り入れていかなければならないと思う。

A 小野町長
不活化ポリオワクチンは輸入しなければ接種できない状況にあり、国内未承認薬のため健康被害に対しての補償等が生じることが予想される。不活化ポリオワクチンを国内導入するまで生ワクチンで対応していきたい。

Q ポリオの副作用を避けたいと保護者は望んでいるが、町内では対象になる乳幼児は何人か。

A 古川町民課長
二十三年度の接種対象者が、十月までのデータで、三十七名。接種率が四



海外で承認されているポリオ不活化ワクチン



Q ねらわれている消費者、社会の視点、個人の視点、悪質商法の問題など、近年は多重債務や

A 加藤教育長
直接消費関係は町部局の仕事ですが、親に対する学習の場を設定したいと思う。町部局とも関連することなので、全体の町民に対することは連絡をとりながらこれから適切に行っていきたい。



自己破産などが余りにも多い。教育者の充実、そして指導者の養成も必要だと思ふ。今後の教育委員会主催の講座などは。

一般質問



川山光則議員



津軽地区陸上大会

町体育協会の運営費強化を求める

Q 運営費等が大変厳しい状況にある。五冠イベントが盛大に行われており、それらに協会が協力をしていくためにも改善すべきと思うが。

冠イベントが盛大に行われており、それらに協会が協力をしていくためにも改善すべきと思うが。

A 小野社会教育課長 五冠イベントの相撲、卓球、陸上、剣道、柔道の大会には総額百三十四万円の補助金を交付し、それぞれ各部に開催を委託している。今後も予算を有効に活用し、さらなる町民スポーツの推進に努める。

五冠イベントの相撲、卓球、陸上、剣道、柔道の大会には総額百三十四万円の補助金を交付し、それぞれ各部に開催を委託している。今後も予算を有効に活用し、さらなる町民スポーツの推進に努める。

漁業の六次産業化への展望は

Q リストラや高齢の影響等で帰郷して、磯回りという特別な方法で行う漁業者がかなりふえている。しかし、磯枯れの影響でとれない状況であることから、六次産業化に期待している。

リストラや高齢の影響等で帰郷して、磯回りという特別な方法で行う漁業者がかなりふえている。しかし、磯枯れの影響でとれない状況であることから、六次産業化に期待している。

まず磯を再生し、漁を安定させる、そこから始めていくことが一番大事であるが、当局の考えは。

A 小野町長

とるだけの漁業から脱却して漁場づくりや育てる漁業への取り組み、通年の就労、加工や高付加価値化への取り組みが必要である。価格の安定と高品質な鮮魚の提供が求められていることから、平成二十一年

度に鮮度保持のための海水ろ過殺菌装置を小泊、下前両漁協に支援した。新しい事業に意欲のある農林水産業者、各団体においては積極的に取り組んでいただき、町としても地域の活性化につながる事業として支援したい。



小泊漁協に設置された海水ろ過殺菌装置

一般質問



山田光春議員

地震及び緊急時の対策に万全を

Q 地震や災害が起きた場合は、役場庁舎が対策本部になる重要な施設である。庁舎そのものが地震やその他の災害に対して万全な建物なのか。

A 秋元総務課長
役場庁舎は、昭和四十年に建てられ、大分古くなっている。現段階で役場庁舎を新築するという財源等を確保していないので、耐震に向けた診断や補修等を行いながら整備していきたい。

Q 消防関係の施設はもちろん、避難所となつている公共施設の地震に対する強度は。

A 秋元総務課長
避難場所として耐震上特に問題のあつた小泊小学校や薄市小学校体育館、小泊

中学校体育館は、平成二十二年度に改修工事を終えており、また、今年度は体育センターの改修工事も行われ、来年度以降で小泊小学校体育館、小泊中学校校舎の改築工事も随時進めていく。



役場庁舎

町営住宅の今後の整備は

Q 旧小泊地区の町営住宅の古い建物が五棟あるが、今後どうするのか。

A 小野町長
現在、公営住宅等長寿命化計画を策定中であり、中里、小泊地域の既存住宅の運営のあり方や、新団地建設についても検討し、二十四年度には新団地建設事業に着手したい。



さわやか団地

一般質問



青山雅晴議員

七平展望台の景観整備を

Q 建設されてから数十年たっており、周りの木々も成長し、十三湖は一部しか見られなくなっている。津軽国定公園になっており、国、県に要望して、もとの景色になるようにしては。

Q 関係機関の国、県で費用等を負担すると思うが。

A 赤石水産観光課長
県ではあくまでも伐採ということは許可しないだろうが、展望台の周りには展望台の周りの地権者の承諾が必要となるので、協力願いたい。

A 赤石水産観光課長
松の木等々が生い茂っている場所は個人の所有地でもあり、土地は筆かえ未定となっており、伐採することは難しい。
また、津軽国定公園第二種特別区域に指定されており、県の自然保護課の許可が必要となることから、今後関係機関と協議しながら検討したい。



七平展望台

傍聴席は、 あなたの席です！！

中泊町議会 平成24年第1回定例会は、3月初旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。
平成23年第4回定例会の傍聴者は、7名でした。
皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問



荒関富雄議員

行政機構改革の今後の展望は

Q 昨年度、行政機構改革の一環として課の統廃合が行われたが、弊害が出ているか。今後も課の統廃合を考えているのか。

権限移譲などで事務量が増えている課もあるが、人員の補充を考えているか。

A **小野町長**

今後多数の退職者が発生するが、補充については最小限にとどめ、課の統廃合や公共施設の指定管理、民間委託などにより効率的で効果的な行政組織を整備し、さらなる経費削減と住民サービスの向上に努める。



中里保育所

Q 当町の規模で、職員数は適正か。判断基準を示せ。

今後中里保育所の民営化やすすくしたまえ館の指定管理者制度を考えているのか。

町の将来像を、きつちり企画立案する場所が必要ではないか。

A **秋元総務課長**

大体百五十人から百六十人程度でないかと、類似団体を見てそう思う。

中里保育所は将来的には民間委託するという計画で進めており、近い将来そういう形になると思う。すすくしたまえ館の指定管理について、その他の施設も



すすくしたまえ館

含めて三月議会でご相談申し上げたい。
企画部門は、総務課においてきて、隣が福祉課で、情報交換等ができ、メリツトがあつたと思う。

Q 財政的に考えてやる企画、機構改革の中で課の統廃合をする前にあつた企画調整課でやる企画、

A **小野町長**

二十五年間から向こう五年間の計画の中で、人員を考えながら考慮する。

総務課の中にある企画、いろいろな意味で企画のあり方そのものが違つていふと思う。
企画は独立していたほうが良いのでは。

12月

- 27日 つがる西北五広域連合臨時会
- 6日 産業建設常任委員協議会
- 5日 単行案審議、閉会
- 5日 定例会一般質問

11月

- 28日 第4回定例会開会
- 25日 中泊町善行・功労者表彰式
- 24日 民生文教常任委員会
- 22日 民生文教常任委員会
- 22日 西北五広域福祉事務組合臨時会
- 21日 青森県消防協会北五支部研修会
- 21日 議会運営委員会
- 16日 民生文教常任委員会
- 14日 全国町村議会議長会全国大会
- 14日 議会運営委員会
- 8日 総務企画常任委員協議会
- 2日 知事を囲む行政懇談会

10月

- 4日 西北五環境整備事務組合定例会
- 7日 西北郡町議会議長会総会
- 26日 青森県町村議会正副議長・事務局局長研修会

民生文教常任委員会

(川山光則 委員長) 11月21日(月)

〈案 件〉

- 新たな高齢者医療制度に関する陳情書
- その他



議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 11月21日(月)

〈案 件〉

- 平成23年第4回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 陳情書の審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

